



Say hello to our readers!

ほんさんの手紙 7月号

LETTERS from HON-SAN vol.37 July, 2018

37 謝り方を誤らない

僕は週3~4日、東淡路のエバーレにある「放課後スペース viva! 宿題カフェ」で15時~19時まで子どもたちと宿題をしたり遊んだりしています。毎日20~30人の小学生が出入りするのでそれはもうひっちゃかめっちゃかなんですが(笑)、あんがい子ども同士のケンカやイザゴザが少なくて「いい子が多いなー」と感心しています。

もちろん時には「手が顔に当たった」とか「ジュースがかかった」とかで友達を怒らせてしまうこともあります。子どもたちは一様にちゃんと謝るのですが、すぐに許してもらえないことも多い。中には「謝ったのに許してもらえない」ことに逆ギレしたり、泣いてしまう子もいます。

そんなとき僕は不可抗力で友達を怒らせてしまった子にこう言うようにしています。「謝りたい気持ちになったら謝ろう。そして心から謝って、それでも許してもらえない時に、その場で謝り続けたり許してもらえないことに怒ったり泣いたりする必要はないよ。『時間が必要なんだ』と思って、待とう。目の前で待つ必要もない。あっちで他のことをして待っててもいいよ」と。

少年時代、わけもわからず親や先生によく「謝りなさい!」と言われました。自分が「謝りたい」と思う前に「謝りなさい!」と言われるので、僕の謝罪は「と



にかく早くコトを終えるための儀式」みたいなものでした。

相手が許してくれるまで謝り続ける、相手の目の前で許してくれるのを待つ、などの行為は全て「自分のため」です。早くスッキリして次に行きたいだけ。

そして、「許すか許さないか」は相手の心の問題なのに、そこに頭を突っ込んで干渉するのは実は「誠実さとは真逆の行為」であると思い至ったのは、かなり大人になってからでした。

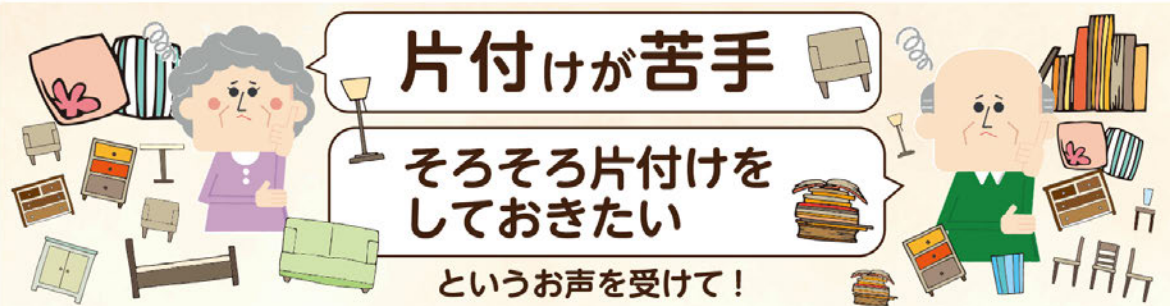
以前も書きましたが、「謝罪」ってすごく奥が深くて自身の心の成長に密接に関わっていると思います。

子どもたちには「上手な謝罪」じゃなくて、「相手のための謝罪」ができるようになって欲しい。ニュースで謝罪会見とか見ると、余計にそう思います(笑)



ぜひお気軽にご利用ください！

ひがよどほんわか隊の「お片付けサポート」



お片付けサポート

始めます！

はじめまして!!(株)スネイルトラック「ひがよどほんわか隊」です！
東淀川区にお住いの方へ新しい「お片づけサポート」をスタートしました。
「足腰が悪くなかなか片付けができない…」そんなお声を聞き、この度

片付け収納アドバイザー

の資格を取得し、お手伝いをさせていただくことになりました！

お客様のご要望をしっかりと聞きながら、

お片づけのお手伝いをさせていただきます！ぜひお気軽にお声をかけてくださいね！



お片付けサポート

1時間 5,000円 のところ

オープニング
キャンペーン
特別価格

3,000円

でお手伝いいたします！

8 月迄の
限定

まずはお気軽に
お問い合わせください！

片付け収納
アドバイザー

小林

片付け収納
アドバイザー

田中

ひがよどほんわか隊

「タレこみ情報」お待ちしております！

ほんさんメールアドレス

honkawa@tsumurin.net

「ほんさんの手紙」のご感想や要望、また新聞に関するクレームや
アドバイス、なんでもお気軽にメッセージください！

「朝刊の配達時間が遅いぞ!コノヤロー!」でも構いません。

※匿名のメッセージの場合のみ、対応が出来かねる場合がございます。予めご了承ください。

ASA 淡路・豊里

〒533-0013 東淀川区豊里 4-15-4

TEL 0120-374-341 FAX 06-6329-0378

(株) Snailtrack 新 HP

<http://snailtrack-higayodo.com/>

ほんさんブログ「ほんさん」で検索!

<http://ameblo.jp/asaminaminoda/>

FB ページ「Snailtrack」で検索!

<https://www.facebook.com/tusmurin?ref=hl>

